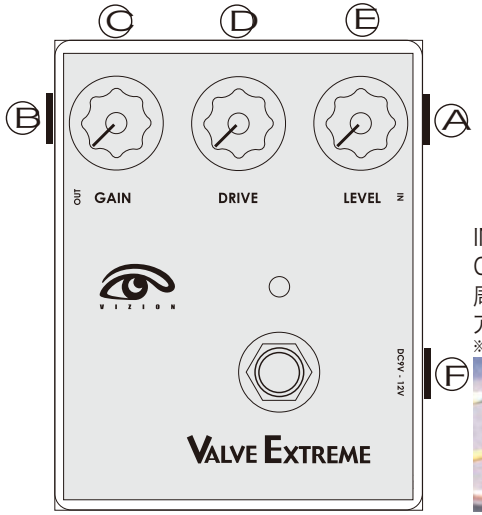
取扱説明書

VIZION

VALVE EXTREME

各部の説明



欲しかったモノをカタチにするブランド。それがVIZIONです。

我々は、楽器の特性とアンプの特徴、そしてプレイヤーの想像力が
1つになった時はじめて良いサウンドが生まれるものと考えています。
「こんなサウンドが作りたい！」「この曲には、こんなエフェクトが欲しい！」等、
プレイヤーのヴィジョンがハッキリしていないと最高のサウンドは生まれません。
そんなプレイヤーのスキルを向上させるアイテムやツールを開発するブランドです
既存品のモディファイや復刻だけでは決して生み出すことができなかった
理想のサウンド、そんなプレイヤーの「Vision」を現実にしていくための「VIZION」です。

この度は、Vizion製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
このVALVE EXTREMEは、本体内部のチューブを自分で交換し、
好みのサウンドを独自で作り出すことのできるチューブドライブです。
アダプターは9V～12Vまで対応した特殊な使用になっています。
この取扱説明書をよく読み正しくご使用ください。

INPUT : 入力インピーダンス 500kΩ
OUTPUT : 出力インピーダンス 10kΩ
周波数特性 : 20Hz～20kHz
アダプター : 工場出荷時センターマイナス
※内部の切り替えコネクターでセンターマイナスからセンタープラスに切り替えできます。

↑センター(-)の状態

↑センター(+)の状態

各部の説明

Ⓐ IN
ギターなどの信号を入力するためのジャックです。

Ⓑ OUT
ギターなどの信号を出力するためのジャックです。

ⒸGAIN
オペアンプの入力ゲインです。右へ回すほど歪みます。

ⒹDRIVE
真空管の歪み量を調節します。右へ回すほど歪みます。

ⒺLEVEL
全体の音量を調整します。オン/オフ時のレベル差を合わせて下さい。

ⒻDCジャック
電源を供給するためのパワーサプライを接続するジャックです。

●VALVE EXTREMEの特徴

このVALVE EXTREMEは、プレイヤーの好みのサウンドを真空管や電圧を変えることによって創り出せる歪みエフェクターです。

●電源について

電源は9V～12Vの直流電源（DCアダプター）で駆動します。
VALVE EXTREMEの最低必要な電流は300mAですが、100%の力を発揮させるには500mA以上電流が必要です。アダプターの詳細を確認して下さい。
9Vでは甘い感じの柔らかいサウンドになり、12Vではパンチのあるパリッとしたサウンドになります。真空管との相性でもサウンドは変わりますのでお試し下さい。
VALVE EXTREMEは全てのアダプターに対応するため、センター(+)センター(-)の設定を選べます。本体内部のコネクターを１度抜き、横方向にするとセンター(-)縦方向にするとセンター(+)になります。工場出荷時はセンター(-)になっています。

●真空管について

真空管はある程度温まらないと正常な電気特性が発揮できませんので、電源を入れてから１分弱はサウンドが割れたりしますが故障ではありません。
真空管は寿命が近づくとサウンドが変化してきます。通常は５年に１度くらいのペースで交換して下さい。使用頻度によっては１～２年で交換時期が来ますのでサウンドが変わったと感じたら交換して下さい。
真空管を交換の際には、真空管が若干熱を持っていますが火傷するほどは熱くありませんのでご安心ください。
真空管を差し込む時に真空管の足が曲がっている可能性がありますので、別売のチューブピン調整ツール(PS-9)に真空管を１度差しこみ、足を補正して下さい。
明らかに足が曲がっている場合は、ペンチなどである程度補正してからPS-9へ差し込んでください。真空管が割れてしまう可能性があります。
真空管は12AX7の他、プリ管であれば12AT7、12AY7、ECC83なども使用できますので好みのサウンドが見つかるまで、とことんお試し下さい。

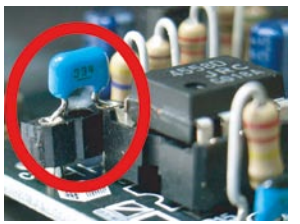
工場出荷時はエレクトロハーモニクス社の12AX7EHが使われています。
エレクトロハーモニクス社の真空管は作りにムラがありますので、同じVALVE EXTREMEでもサウンドが違う場合があります。12Vで試すとムラは少なくなりますが、ご了承下さい。

※GAINノブの操作ノイズについて
GAINツマミを操作している時に、ポットガリのようなノイズが出る場合があります。VALVE EXTREMEのGAINノブの操作は単純なシグナル・レベルの可変ではなく真空管の増幅率を大幅に直接変化させているので、電圧が変化する際の動作のノイズです。不良や故障ではありませんのでご了承下さい。

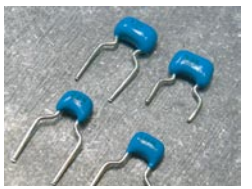
●VALVE EXTREMEの使い方

VALVE EXTREMEはオーバードライブやブースターとして使用しますが、出力を大きく取ってあるのでパワーアンプを使いプリアンプとして使用することも可能です。
プリアンプとして使用する場合とすでにお持ちの歪みエフェクターに真空管の暖かさをプラスしたい場合は、GAINをゼロにしてDRIVEで真空管の暖かさを加える使い方をお勧めいたします。LINEで音を出す場合も最後にVALVE EXTREMEを繋ぎ、同じ方法で暖かさをプラスできます。お試し下さい。

●コンデンサーについて



VALVE EXTREMEには４つのコンデンサーが付属されています。
オペアンプ左側の青いパーツです。コンデンサーに印刷された番号を確認し、好みに合わせて低音を調節してください。
※コンデンサーを交換する祭は、必ずオン/オフ・スイッチをオフにしてから交換してください。
《それぞれの特性》
104 高音が煌びやかで、歪系アンプのゲインブーストにお勧めです。
224 中音が若干強調されるタイプです。
334 低音が若干強調されるタイプです。
474 もっとも低音が出るブーミーなタイプで、聴感上ゲインも高く感じます。
工場出荷時は334が付いています。このコンデンサーは入ってきた入力信号に１番最初に影響する配線になっていますので、コンデンサーの後にあるオペアンプと真空管も影響を受けます。いろいろな組み合わせをお楽しみ下さい。
104→224→334→474と低音成分が増えますので、歪みの量も多くなります。



※334コンデンサーとグルーブチューブGT-12AU7を組み合わせると、ナチュラルなサウンドになります。
474コンデンサーとグルーブチューブGT-12AX7Rを組み合わせると、ヘヴィーなサウンドになります。
他、いろいろな組み合わせをお楽しみ下さい。